

# 減少が著しい諏訪圏域の人口

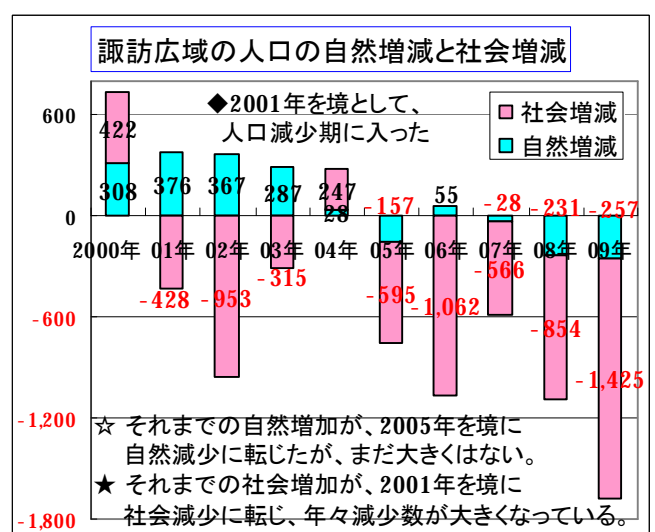
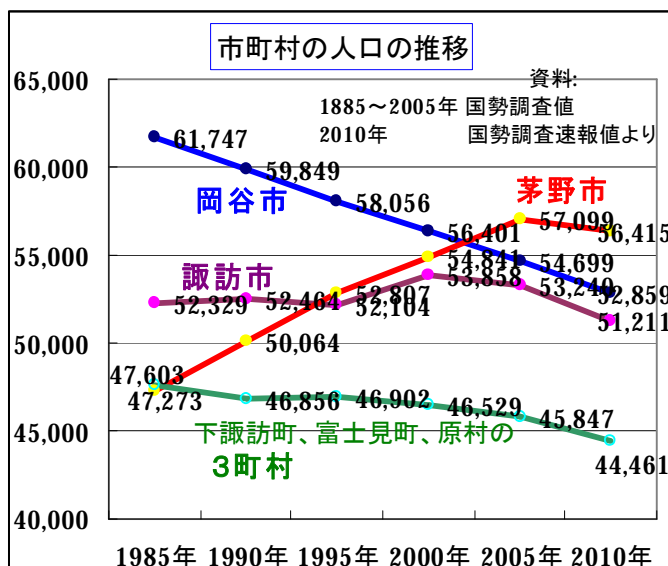
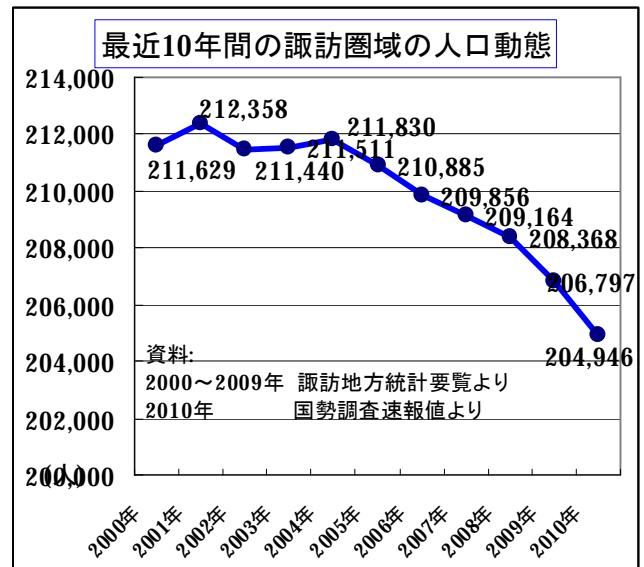
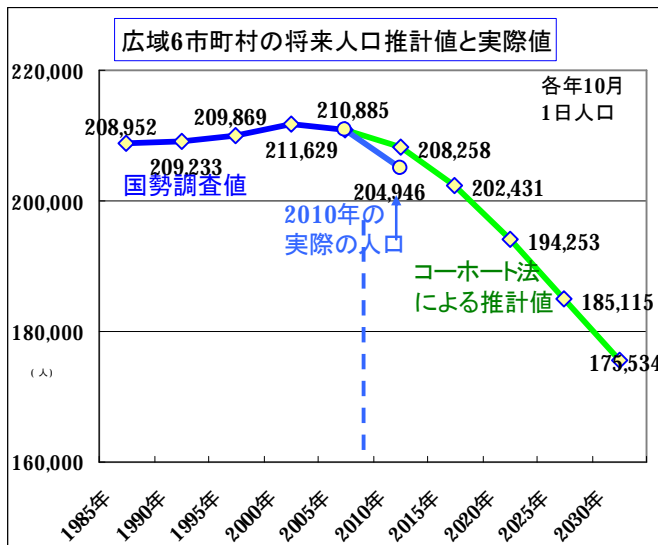
2010年国勢調査速報値からみた人口動態

2011. 2. 19

矢島義恭

昨年10月1日の国勢調査速報値によれば、諏訪圏域6市町村の人口は、204,946人で、前回2005年の210,885人より5,939人、約6,000人の大幅な減少となりました。これはコーホート法による推計値よりも低く、これから続く人口の急減期がいよいよ始まったこととなります。諏訪の人口は近年微増微減の横ばいを続けていましたが、2005年より6年連続して減少しています。近年は、年間2,000人近くの減少になっているので、このまま行くと3年後には200,000万人を割ることになります。

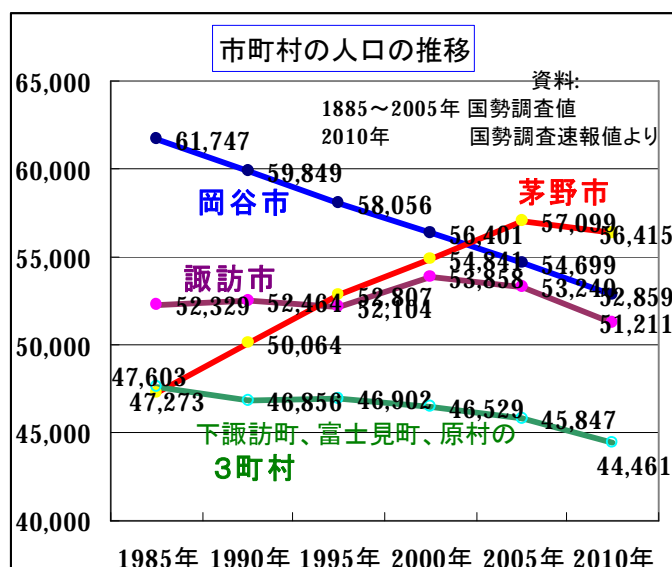
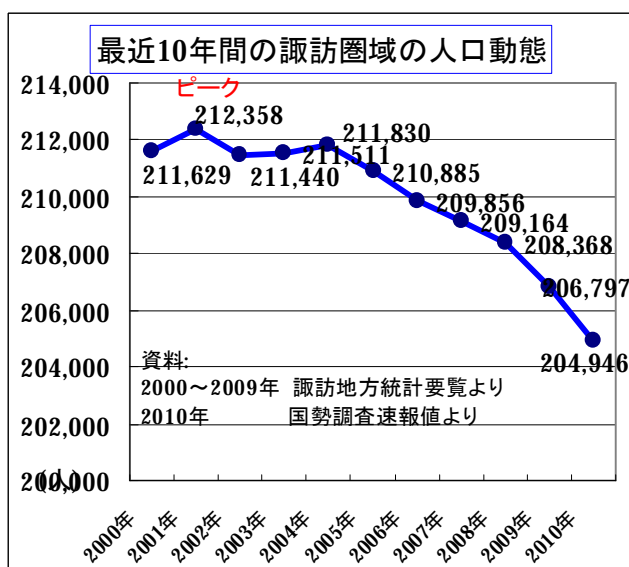
この5年間では、6市町村のなかでは唯一原村だけが約119人の増加をみただけで、他の5市町村は減少しています。減少傾向を続けてきた岡谷市は約2,000人、横ばいを続けていた諏訪市も約2,000人と大きく減少し、増加傾向を続けてきた茅野市も一転して684人の減少となりました。



## 縮んでゆく諏訪圏域の人口

諏訪圏域6市町村の人口は6年間で7,000人弱減少しました。ピークは2001年の212,358人でしばらくは微増微減の横ばい状態でしたが、2004年の211,830人を境に2010年の国勢調査速報値の204,946人へと急激な減少傾向へと転じました。日本全体の人口もピーク時を過ぎましたが、諏訪圏域ではいち早く急速な人口規模の縮小が始まったといえます。これによって、商工業を始めとする諸分野に様々な問題がおこるだろうと予想され、それへの対処が求められます。

岡谷市の人口のピークは1980年の62,210人でしたが、これまでに約10,000人減少しました。2003年に市長は「人口増加策」を市の主要施策として2008年の60,000人を目標に取り組んできましたが、減少傾向をくいとめることができていません。諏訪市は微増微減できましたが、この5年間で約2,000人という6市町村では最も大きい減少がありました。唯一大幅な増加をしてきた茅野市もこの5年間で一転して約600人の減少になりました。この5年間では原村が唯一119人微増しただけで、3町村全体としては減少傾向が一段と強まっています。



# 20年後に15%減少する諏訪圏域の人口

諏訪圏域の人口は2004年の211,830人を境に、急激な減少傾向に入りました。

2005年の国勢調査値とそれ以前5年間の人口動態を基に、国立人口問題研究所が発表した将来人口推計値によれば、20年後の2030年の人口は179,436人で、ピーク時の人口と比較すると15.2%の減少になります。2005年～2010年の減少傾向は強くなったので、2010年を基にした推計値はもっと低くなることは確実です。このことは社会や経済への様々な影響が予測されますので、市町村の長期計画も一転してこの人口減少に対処する観点からの策定が求められます。

減少の原因の一つは人口の自然増加が自然減少に転じたことです。出生数から死亡数を引いたのが自然増減ですが、少子高齢化により出生数は減り続け死亡数が増え続けたため、自然増加状態にあった諏訪圏域人口は自然減少に転じ、その減少傾向は今後一層加速します。もう一つは社会増減が社会減少に転じたことです。地域への転入者数から転出者数を引いたのが社会増減ですが、諏訪では転出者の方が多いため社会減少となり、この減少数が年々増加していることです。

